令和元年度　第1回事業評価監視委員会　審議案件一覧（道路事業：再評価）

資料１

番号	審議区分	県名	事業名	前回評価年度（ ）は今回再評価理由	車線数	事業延長の変化（ ）内は開通済み延長（R元予定含む）		全体事業費の変化		事業期間の変化		計画交通量の変化		費用便益比の変化				R元年度以降開通予定（H31.4時点）	対応方針（原案）	県知事意見
														全体		残事業				
						前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差			
1 （資料5-1）	要点	宮城 岩手	（復興道路） 三陸沿岸道路 登米～釜石	H29 （社会情勢変化）	2/2	約111km （62.1km）	約111km （101.8km） 【＋39.7km】 ・歌津～小泉海岸(10km) ・本吉気仙沼道路Ⅱ期（4.0km） ・気仙沼中央～気仙沼港（1.7km） ・唐桑小原木～陸前高田（10km） ・吉浜～釜石JCT(14km)	4,984億円	5,164億円 【＋180億円(4%)】 ○労務費高騰等 ○法面変状対策の追加 ○岩盤掘削量・岩塊処理の増加 ○周辺環境に配慮した施工の追加	10年 H23～R2	10年 H23～R2	11,900台/日 ■推計：H17OD （第２段階改善）	11,700台/日 【－200台/日】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD	1.2 【前回】	1.1 【－0.1】 事業費増によるB/Cの減	2.7 【前回】	2.6 【-0.1】 事業費増によるB/Cの減	・小泉海岸～本吉津谷（2km）R2 ・気仙沼中央～気仙沼港（1.7km） R元	事業継続	事業継続
2 （資料4-1）	重点	青森 岩手	（復興道路） 三陸沿岸道路 宮古～八戸	H29 （社会情勢変化）	2/2	約132km （45.4km）	約132km （52.8km） 【＋7.4km】 ・久慈北～侍浜（7.4km）	5,679億円	6,399億円 【＋720億円(13%)】 ○労務費高騰等 ○法面変状対策の追加 ○岩盤掘削量の増加 ○転石処理の追加 ○トンネル支保構造の変更、補助工法の追加 ○発生土安定処理の増加 ○軟弱地盤改良の増加	10年 H23～R2	10年 H23～R2	7,300台/日 ■推計：H17OD （第２段階改善）	7,900台/日 【＋600台/日】 将来OD変更による増加 ■推計：H22OD	1.3 【前回】	1.1 【－0.2】 事業費増によるB/Cの減	2.7 【前回】	4.5 【+1.8】 残事業費の減少によりB/Cが増加	・宮古中央～田老第2（17km）R2 ・尾肝要～普代（8km） R2 ・久慈北道路（7.4km） R元 ・侍浜～階上（23km） R2	事業継続	事業継続
3 （資料5-2）	要点	岩手	（復興支援道路） 宮古盛岡横断道路 宮古～盛岡	H29 （社会情勢変化）	2/2	約66km （10.7km）	約66km （19.4km） 【＋8.7km】 ・松山～根市（3.3km） ・下川井地区（2.0km） ・田の沢～手代森（3.4km）	2,458億円	2,618億円 【＋160億円(7%)】 ○労務費高騰等 ○岩盤掘削量の増加 ○トンネル支保構造の変更、補助工法の追加 ○残土受入地の変更	10年 H23～R2	10年 H23～R2	5,200台/日 ■推計：H17OD （第２段階改善）	4,800台/日 【－400台/日】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD	1.03 【前回】	0.94 【－0.09】 事業費増によるB/Cの減	1.6 【前回】	7.9 【+6.3】 残事業費の減少によりB/Cが増加	・宮古西道路（4km） R2 ・羅目～腹帯（7km） R2 ・下川井地区（2km） R元 ・川井～箱石（7km） R2 ・区界～簗川（8km） R2 ・田の沢～手代森（3.4km）R元	事業継続	事業継続
4 （資料4-2）	重点	福島	（復興支援道路） 東北中央自動車道 相馬～福島	H30 （社会情勢変化）	2/2	約45km （27.5km）	約45km （33.5km） 【＋6.0km】 ・相馬～相馬西（6km）	2,077億円	2,315億円 【＋238億円(11%)】 ○労務費高騰等 ○法面変状対策の増加 ○トンネル補助工法の追加 ○発生土安定処理の追加 ○軟弱地盤改良の増加	10年 H23～R2	10年 H23～R2	9,400台/日 ■推計：H22OD	9,400台/日 ■推計：H22OD	1.02 【前回】	0.93 【－0.09】 事業費増によるB/Cの減	5.2 【前回】	2.4 【－2.8】 事業費増によるB/Cの減	・相馬～相馬西（6km） R元 ・霊山～福島保原線（7.4km） R2 ・国道4号～桑折JCT（2km） R2	事業継続	事業継続

※第２段階改善：平成25年度から反映。各交通分野毎に推計していた分布交通量（ＯＤ表）を統合して推計（将来交通量推計が過大にならないように、全国統一で２段階で改善）